

悪用が心配される 健康保険証や運転免許証の紛失

相談

健康保険証を紛失したらしく見当たらない。誰かが健康保険証を悪用し、サラ金などで借金されないか心配。どうしたらよいか。

対処方法

健康保険証や運転免許証の紛失や盗難に遭ったため、本人が知らないうちに第三者が悪用して消費者金融で借金をされたり、クレジットを利用して商品を購入されたりするのではないかと相談が多く寄せられています。実際に健康保険証や運転免許証を身分証明書として利用する消費者金融や信販会社も少なくなく、被害を防ぐためには早急な対応が必要です。最寄りの警察署と発行元に届け出た上、再発行の手続きを行います。

- ◆ 健康保険証：健康保険組合または年金事務所
 - ◆ 運転免許証：公安委員会または免許更新センターなど
 - ◆ 被害を防ぐ方法の一つとして「本人申告制度」を利用しましょう。
- ※「本人申告制度」とは：身分証明書の紛失や盗難に遭ったことなどの情報を個人信用情報機関に登録することで、当該機関に加盟会社(信販会社、消費者金融、銀行など)がその与信審査をより慎重に行うことができるようにする制度です。

【代表的な個人信用情報機関】

- ・(株)シー・アイ・シー ☎0120・810・414
- ・全国銀行個人信用情報センター ☎0120・540・558
- ・(株)日本信用情報センター ☎0120・441・481

※トラブルに遭われた方は、一人で悩まず早めにご相談ください。

給食が育てるカラダとココロ

牛久産小麦粉で作ったパンが、初めて学校給食に登場しました！

5月8日に牛久第二中学校で給食に出されたパンは、エンゼル(神谷・鈴木秀弘店長)で焼いたものです。

パンはその日の気温や室温次第で材料の配合が変わるといふくらいデリケートな食品。牛久産の小麦粉を使いこなすために、鈴木店長は何度も試作を重ねてくれました。「おいしく食べてもらいたいから」という言葉に、温かい人柄が感じられます。

生徒たちからは初めての牛久産小麦粉のパンに、「もちもち」「香りがよい」「味わいがある」という感想が多く聞かれた一方、「いつものパンと味が違う」「ちぎりにくい」という意見もあり、中学生ともなると好みがさまざまであるという発見もありました。

市では地元産の「顔のみえる食材」で、うしくつ子を元気にしたいと、今後も地産地消を推進していきます。多くの子どもにとって、給食は楽しみの一つです。味の記憶は大人になってもきつと残るはず。給食は体だけでなく、郷土愛も育てるものかも知れません。

みんなの農業

うしくスタイル

問 農業政策課 ☎内線1521、1522

